

■ .NET Framework 版 SL-GMS 新バージョン5.5bで、 Visual Studio 2026 をサポート追加、2038年問題対応版としてリリース

SL-GMS Developer for .NET, Custom Editor for .NET オプション

2026年4月28日 ニュースより

SL ジャパンは、監視制御システム(DCS/SCADA)のダイナミック GUI/HMI と固有エディタを開発するための専用ツールとして長年の実績を誇る SL-GMS (C++, Java, .NET Framework, HTML5, .NET 8) ラインアップの .NET Framework 版 SL-GMS の新バージョン5.5bを、リリースしました。

64bit版/32bit版 SL-GMS Developer for .NET と Custom Editor for .NET オプション製品は、.NET Framework 4.8 における Visual Studio 2022 を使った、高度な監視制御システム(DCS/SCADA)のダイナミック GUI/HMI とシステム固有のグラフィックエディタを開発するためのツールです。

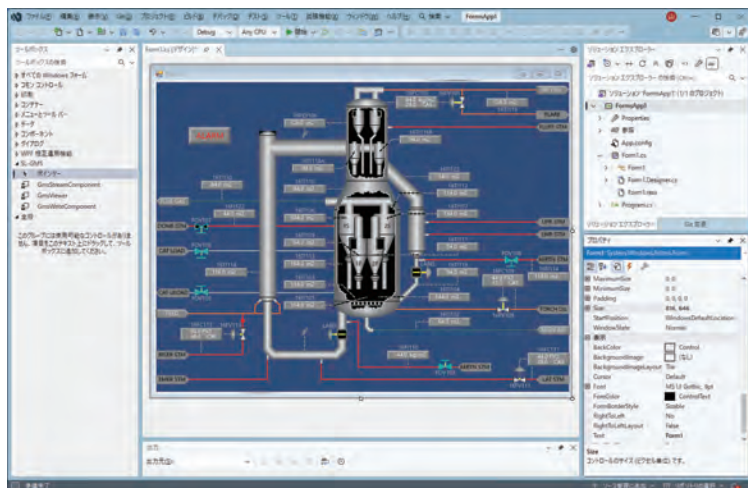
今回の新バージョン5.5bでは、従来の Visual Studio 2022 に加え、新たに Visual Studio 2026 のサポートを追加しています。

また、米国 SL が昨年よりテスト調査を繰り返してきた 2038 年問題に対応したバージョンとして、リリースしています。

※SL-GMSの2038年問題と対応については、ユーザー向けのドキュメンテーションサイトで詳細を確認いただけます。

☆ニュース全文はこちら:

https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2026/sl_j_news_260428.shtml



Visual Studio 2026 における SL-GMS の .NET ビューワーコントロール

SL-GMS C++/Developer 新バージョン7.2bで、 Visual Studio 2026 をサポート追加、2038年問題対応版としてリリース

制御システム(DCS/SCADA)のダイナミック GUI と固有のカスタムエディタの開発で、 1980年代より進化し続けてきたロングセラー

2026年5月7日 ニュースより

SL ジャパンは、監視制御システム(DCS/SCADA)を専門とするダイナミック GUI/HMI と固有のカスタムエディタ開発ツールとして長年の実績を誇る 64bit版/32bit版 SL-GMS C++/Developer 新バージョン7.2bをリリースしました。

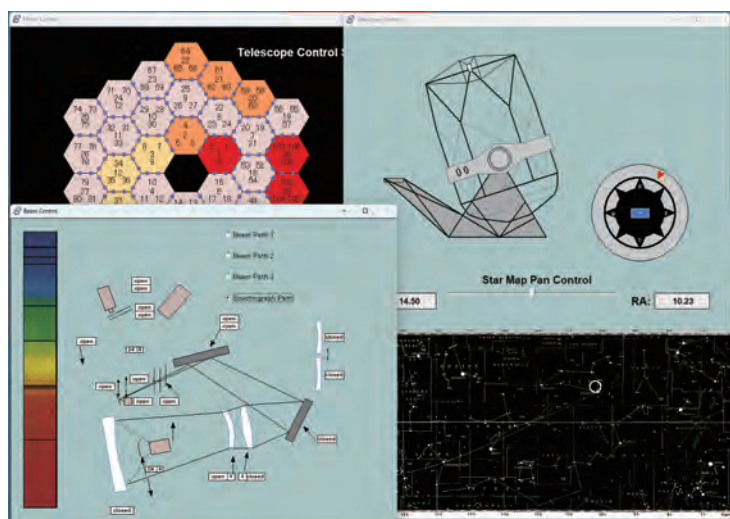
現在は Windows 版と Linux 版を提供している SL-GMS C++/Developer は、UNIX 全盛期を迎えようとしていた 1980 年代来のロングセラー製品で、プロセス制御、ネットワーク管理、交通管制、宇宙・防衛などの分野における世界で何万ものミッションクリティカルな監視制御システムで稼働してきました。

今回の新バージョン7.2bでは、従来の Visual Studio 2022 に加え、新たに Visual Studio 2026 のサポートを追加しています。また、米国 SL が昨年よりテスト調査を繰り返してきた 2038 年問題に対応したバージョンとして、リリースしています。

※SL-GMSの2038年問題と対応については、ユーザー向けのドキュメンテーションサイトで詳細を確認いただけます。

☆ニュース全文はこちら:

https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2026/sl_j_news_260507.shtml



天体望遠鏡制御システム事例

制御システム(DCS)の高対話性グラフィック操作画面を高性能なHTML5に変換してブラウザ運用

SL ジャパンは、去る 2026 年 3 月 10 日(火)にウェブセミナーを開催し、HTML5 版 SL-GMS Web/Developer による、制御システム(C++, Java, .NET)の高対話性グラフィック操作画面の Web 化について、ユーザ事例とデモンストレーションを交えながら、開発と運用動向を可視化という観点からまとめました。

国内各社の DCS/SCADA やソリューションに組み込まれている SL-GMS(米国 SL グラフィカルモデリングシステム)は、UNIX から Linux, Windows へ、C/C++ から ActiveX, Java, .NET へ、そして Windows 10 で進んだ 64 bit ネイティブ化で、ライフサイクルが 10 年前後におよぶ監視制御システムの最も容易な開発と移行を長年支え続けてきました。

そして、プラントにおける運用面コストや要員不足、市町村合併(公共)やサービス管轄拠点の統廃合(企業)、コロナ禍などを背景に、中央制御室から Web 化ならびにリモートデスクトップ運用による遠隔監視が一層進行し、さらにはクラウド運用の監視へのニーズも高まりました。

セミナーでは、豊富な SL ジャパンの国内ユーザ様の事例から、監視制御システムの Web 化について、開発と運用動向を可視化という観点からまとめました。また、外部クラウドでリモート運用している SL-GMS のデモより、制御システムでよく実装される監視機能をご覧いただいた他、それらを HTML5 に変換してクラウド運用しているデモをご紹介しました。

そして、デスクトップ運用するグラフィック操作画面を実際に SL-GMS Draw エディタで対話的に作成し、HTML5 に変換して Web 運用するまでの開発工程を、実演で解説しました。



「.NET 版 SL-GMS でリモートデスクトップ運用しているグラフィック系統図を HTML5 に変換して Web 運用」デモビデオ(2分38秒)

SL ジャパン設立記念日で休業のご案内

SL ジャパンは、2026 年 6 月 5 日に設立 28 周年を迎えます。これもひとえに、これまでご支援くださいましたユーザ様ならびにお取引先様のおかげと、心よりお礼申し上げます。

ICT(情報通信技術)は目まぐるしく進化し、弊社を取り巻く環境は激動してきましたが、SL ソフトウェアを使って開発されるお客様の適用システムのライフサイクルが 10 年前後である中、持続可能な事業を第一に運営してまいりました。

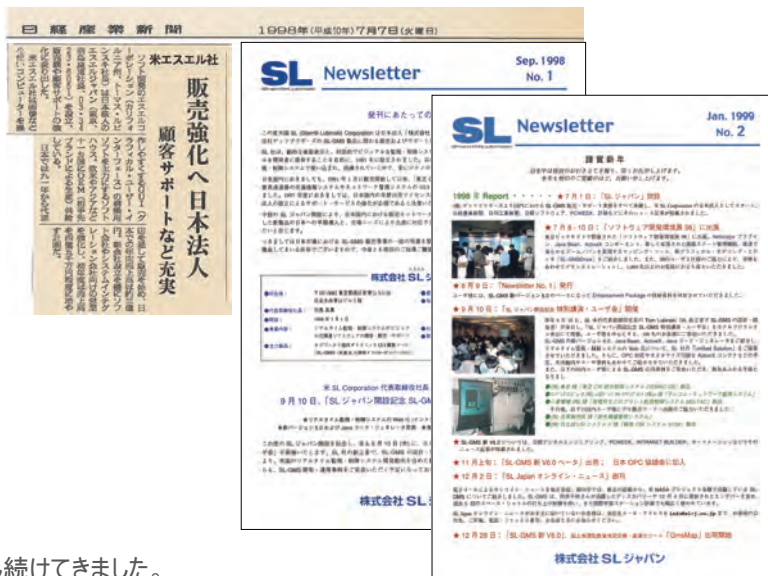
米国 SL (Sherrill-Lubinski) は、1983 年以來 40 年以上にわたって、リアルタイムデータのグラフィックな可視化と監視に全力を注いできた専門メーカーです。

日本では 1991 年に代理店販売を通じて創業して以来、SL の可視化とエディタ技術は大手各社様の DCS/SCADA 製品やソリューションに組み込まれ、浄水場・焼却炉、発電所・変電所、空港・鉄道・道路、宇宙・防衛、工場・ビル、オペレーション/データセンターなど、さまざまな暮らしの身近なところで日々稼働し続けてきました。

そして震災の 2011 年以來、毎年利益の一部から日本赤十字社への寄付活動を長年続けています。

創立 100 周年以上のお客様が多い中で、まだまだ若年ではありますが、引き続き業務に一所懸命取り組んでまいりますので、より一層のお引き立て、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

☆設立記念日で休業のご案内: 2026 年 6 月 5 日(金)



株式会社 SL ジャパン

〒107-0061 東京都港区北青山2-12-8 BIZ SMART 青山
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

Real-Time Visibility

年3回発行 2026年5月26日発行 通巻84号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。